



平田直巳後援会より

昨年は皆様の多大なるご支援を頂き、平田直巳君を市議会に送り出すことが出来ました。誠にありがとうございました。皆様方へのご恩返しはまだまだこれからですが、平田直巳君は多くの課題をいただき、多方面で折衝を繰り返し地域のため、磐田市のために奮闘しております。

さて、今地域を見渡してみますと、荒廃した雑木林、耕作放棄地、空き家等が

多々存在し、加えて10年以内にその可能性になる予備軍が目につきます。これは私一人が感じている事柄ではなく、多くの方がそう思っているのではないのでしょうか。この問題をどう課題に落とし込み、解決していくか、大変な時間と労力が必要でしょう。

「美しい磐田」「誰もが住みたくなる磐田」を目指して、平田直巳君にはしっかりとこ

の問題にも取り組んでもらいたいと思っています。

今年も変わらぬご支援と活動の注視をお願いして、平田直巳君を議員として成長させていただきたく、宜しく願いいたします。

平田直巳後援会
会長 大石 成志

平田直巳ごあいさつ



平田 直巳

もう少しで1年、安心・安全に暮らせる磐田市を目指して。

磐田市議会議員としての活動ももう少しで1年になろうとしています。5月の臨時会に始まり、3回の定例会を経験しました。その間、磐田市総合計画後期基本計画(案)への提言や建設産業委員会、議員懇談会、防災対策会議等にも数多く出席し、勉強・経験をさせていただいています。

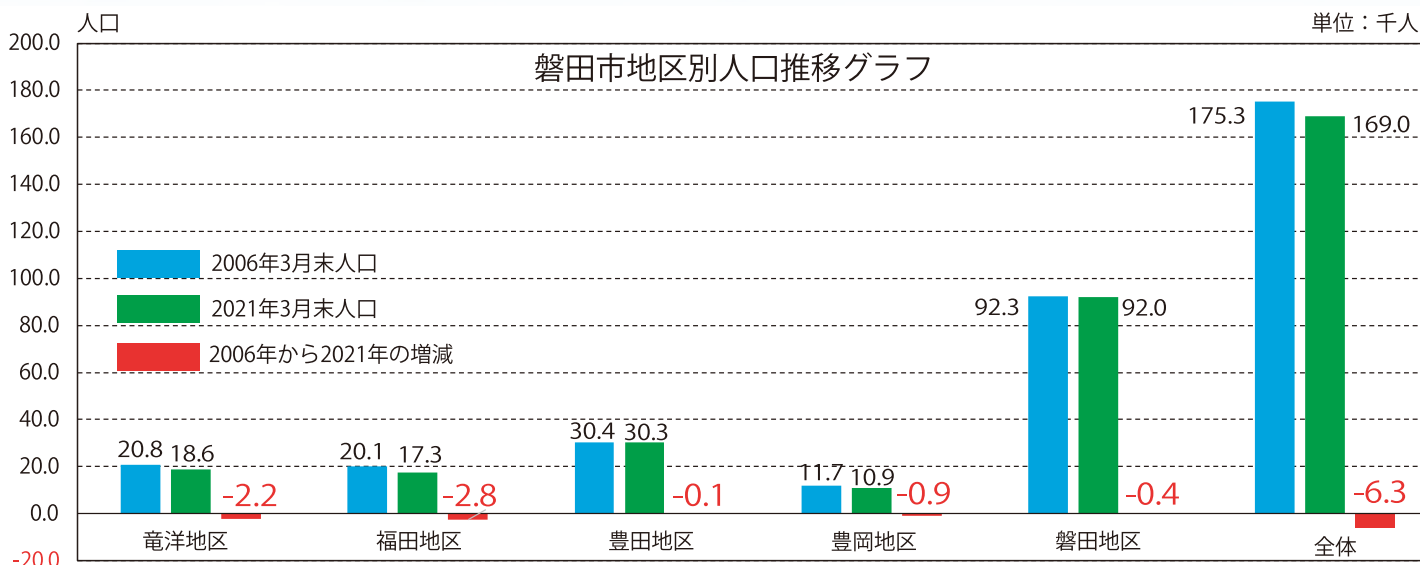
そして、市民の皆様からも多くの問い合わせや要望、課題等をいただいています。高齢者や子ども食堂等ボランティア活動への補助についてや、磐田市立総合病院内でのWi-Fi設備の設置、地域活性化のために市民が活動しやすい体制づくり等です。これらに取り組み、少しずつですが成果が

出てきています。

また、新型コロナウイルスにより生活様式も一変し、新たな要望や課題も出てきています。現在磐田市では、飲食店に対する協力金やキャッシュレスを活用した景気対策等を実施しています。新たにオミクロン株が出てきており、3回目のワクチン接種の予約受付も始まりました。

引き続き、市民の皆様のご意見を聞かせていただきながら、安心・安全に暮らせる磐田市を作っていくように活動してまいりますので、よろしくお願いいたします。

磐田市の人口推移について2006年3月末と2021年3月末を比較しました



磐田市全体では、6,250人の減少がみられます。特に東日本大震災の影響があるのか、**竜洋地区と福田地区の人口減少が目立っています。防潮堤の完成が令和8年に前倒しされましたので、地域の活性化と人口増加に向けて取り組んでいきたい**と思